

1 古代手工業史研究のあゆみ

考古学・文献史学における総合的・理論的研究

小林行雄 1962・1964

浅香年木 1971

石母田正 1973

労働力編成の問題

品部雑戸制

狩野久 1990・新井喜久夫 1962・67・78・平野邦雄 1969・箕敏生 2002 春名宏昭 2006

仕丁制

弥永貞三 1980・櫛木謙周 1996

官司制

中西康裕 1983・仁藤敦史 2000・1999・芳之内圭 2003・2004・2005・2006

技術に目を向けたもの

櫛木謙周・栄原永遠男 1982・櫛木謙周 1991

鬼頭清明 1993・1994

近年における考古学の成果

上原真人他編『列島の古代史』2・4・5（岩波書店、2005・05・06）

瓦に関して

森郁夫 1973・1976・1980・2001

上原真人 1983・1984・1989・2002・2003・2006

梶原義実 2000・2002・2003

課題：考古学の成果を踏まえて技術史的な観点から検討を行う文献史学研究が少ない。

律令国家に包摂されない手工業の存在に留意。／天皇の位置づけに留意。

天皇と手工業：網野善彦 1984 他

2 文献史料からみた瓦の生産

2-1 飛鳥寺の造営と技術の移転

瓦博士の渡来と技術の移転

『日本書紀』崇峻元年（588）是歳条

乙巳の変と飛鳥寺の官治

『日本書紀』天武9（680）年4月是月条

大化元年8月詔と氏寺造営の奨励

『日本書紀』大化元（645）年8月癸卯条

飛鳥池遺跡における瓦

飛鳥池遺跡出土木簡